

収集作業員の なあ～聞いて～！

環境課に異動してまだ3カ月しか経っておらず、収集作業もかいている汗の量ほど足が前へ進まず、気持ちだけが前へ前へ……。

そんなある日、前からこやかな顔で年配の男性がこちらへ…手には乳白色の袋を持って…

私「あ～そこへ置いといてください。取りにいきますので！」

それでも笑顔のままこちらへどんどん歩いてこられます。

少しでも環境への影響が少ないように下りながら収集できるように運転手が配慮しています。

ということは…前から来られる年配の男性は坂を上って来られているのです。『そこにごみを置いていただければ私がそこまで行くのに』と思いながら、収集し進んで行くと、なんと手に持っておられたのは、近くで買い物をしてこられたお昼ごはん？「しまった！」とっていると、その年配の方は何事もなかったようにこやかに通り過ぎて行かれました。もし気づかずにその袋を間違えて収集車にいれてしまえば、と思うとヒヤッ!!としました。

たまにおられますが、収集車を追っかけてごみを出される方が…(大変危険ですので、決められた時間までに出しておいてくださいね!!)

収集作業現場でのいろいろなエピソードや、ちょっと面白い出来事などを不定期で発信していきたいと思います。

